



# 七色の虹



富士市立富士中央小学校  
学校だより 第9号  
令和6年1月5日 児童数 566人

## 初春 「一年の始まり」

保護者や地域の皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもたちは、13日間の冬休みを御家族や親せきの方々と一緒に楽しく過ごせたことと思います。子どもたちにとっては短い期間だったかもしれませんが、年末から年始にかけて、古くから伝わる日本の伝統文化に多く触れることができたのではないのでしょうか。初日の出や初詣、おせち料理など、お正月にまつわる先人からの言い伝えや風習を知り、楽しさと学びのつまった冬休みを子どもたちは体験できたと思います。また、富士中央小の子どもたちが事故やケガもなく、元気に再会できたことも大変うれしく思います。

今日から3月19日(火)までの50日間、私たち教職員一同は子どもたちと共に教育活動に取り組んでまいります。1～5年生にとっては修了式、6年生にとっては卒業式を今年度のゴールと設定し、一人一人が学びのまとめをしっかりとできるように、それぞれの頑張りや伸びを認めたり、励ましたりしながら支援していきたいと思っております。これからも保護者や地域の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 5組の子どもたち一人一人の成長

本校の特別支援学級には8人の子どもたちが在籍し、毎日一人一人に合った学びに一生懸命取り組んでいます。教室での学習の他にも地域の方の御協力をいただきながら、年間を通して野菜などの栽培活動にも子どもたちは励んでいます。今年度は、担任の他に2人の支援員が子どもたちの学びをサポートしています。担任や支援員が、日々の学習活動の中で子どもたちができるようになったことや成長したことなどを一人一人に伝え、成長した喜びを共に分かち合っています。

先月、富士中と富士第一小の特別支援学級の子どもたちが富士中央小に集まり、クリスマス会を開きました。このクリスマス会は、富士岳南ライオンズクラブの方々の御支援と御協力をいただき行われました。司会や進行を担当するのは、本校の5組の子どもたちでした。司会の子どもたちは、順序よく会を進めることができました。また、司会以外の子どもたちもそれぞれの分担をしっかりとこなすことができました。どの子どももきはきはと自分の思いを会場にいる人たちに伝え、とても立派でした。

各校の出し物もとても上手でした。5組はハンドベルなどを使って、クリスマスソングを演奏しました。長い演奏曲もありましたが、全員で頑張ってお練習した成果が息の合った演奏に表れていました。富士第一小の子どもたちもハンドベルや歌で、クリスマス会を盛り上げました。富士中の生徒たちは、お話と歌で会場にいる全員の気持ちを一つにしました。小学生の低学年の子どもたちにも分かりやすく、やさしく話を進める中学生。さすがだなと感じました。また、かわいらしい絵を使って、手を動かしたり、歌ったりするので、小学生の子どもたちも一緒に声を合わせて手や体を動かすなど、とても楽しそうでした。来年度から市内の中学校区ごとに本格実施する小中一貫教育の原点が、特別支援学級の子どもたちの交流活動に見て取れました。これからも5組の子どもたち一人一人を温かく支援していきたいと思っております。



## 創立30周年を迎えて(7)「子どもたちによる創立30周年企画」



パンジーなどを使って、昇降口前の花壇に描かれた「30」。これは、園芸委員会の子供たちが自分たちで考え、30周年記念を花で表現しました。とても素晴らしい活動です。また、1月9日(火)から始まる「富士山読書月間」では、図書委員の子供たちが「30周年記念スタンプラリー&開運おみくじ」を企画し、読書とあわせて盛り上げてくれます。これは、スタンプラリーに6個スタンプがたまると、おみくじが1回引けるようになっています。実に楽しい企画です。その他にも子どもたちのアイデアあふれる企画や取組が今後も続きます。富士中央小の子どもたちのアイデアや工夫した取組、とても素晴らしいです。

企画です。その他にも子どもたちのアイデアあふれる企画や取組が今後も続きます。富士中央小の子どもたちのアイデアや工夫した取組、とても素晴らしいです。



